

ゆび募金 だより



No.

5

会報 第5号

この潤いが小さな社会貢献へ



NECキャピタルソリューション 株式会社

【事業内容】

当社は、NECグループの先進のICT技術や当社の金融におけるノウハウを持って、「私たちは『Capital Solution（キャピタルソリューション）』を通してより豊かな社会の実現に貢献します。」という企業理念のもと、リースビジネスに加え、多様なキャピタルソリューションを展開しています。

～キャピタルソリューション～

お客様の「経営資源＝キャピタル」を中心とする幅広い経営課題に対し提供する「解決策＝ソリューション」を表します。

【ゆび募金について】

社員の誰もが気軽に参加できる社会貢献活動はないかと探していたところ「ゆび募金」に出会い、導入を決めました。まだ1台の導入ではありますが、導入後はその自動販売機だけを利用する社員も出てきています。手間をかけずに導入することができ、社内の社会貢献に対する意識変化にもつながっています。

【寄付先について】

「公益財団法人日本盲導犬協会」を寄付先選ばせていただいた理由は、当社で支援活動が手薄であった福祉分野において、微力ながらも助けになればと思ったためです。

今後も他分野において、支援活動を継続的に行っていきたいと考えています。



NEC Make a Difference Drive とは

社員がボランティア活動を通して地域に貢献することで、社員自身が新しい自分を発見し、社会志向の高い企業マインドを育むこと、企業価値を高めることを目的とした社員参加型地域貢献運動です。

NECキャピタルソリューション株式会社

代表取締役社長：安中 正弘

本社所在地：東京都港区芝5-29-11

従業員数：493名（2012年9月30日現在）

事業内容：情報処理、通信、事務、産業に関わる各種機器・設備等のリースおよびファクタリング、融資、集金代行業務等

支援者のご紹介

財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院

【事業内容】

けいゆう病院は、昭和9年横浜市中区山下町に設立された横浜市内では有数の歴史と伝統を誇る病床数410床の病院です。平成8年にみなとみらい地区に移転し、立地に相応しいアメニティーを有する病院として生まれ変わりました。

当院の目標は、地域の皆様の健康増進・回復を補助し高めていくことです。これまでに地域の中核病院として平成16年に地域医療支援病院に指定され、平成17年に日本医療機能評価機構の認定病院となり、平成24年にはDMAT（災害時派遣医療チーム）指定病院になるなど、広く県民の皆様に対して医療活動を行ってきました。

当院は厚生労働省臨床研修指定病院であり、多くの学会認定研修施設にも指定され、若手医師、専門医師の育成にあたっています。昨今の医療を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、当院の理念である「患者様中心の医療」「高度で良質な医療」「安全で信頼される医療」を実践すべく、専門スタッフを揃え、職員心を一つにして、努力していきたいと思っております。これからも高度な医療を提供し、患者様に優しい病院を目指し常に成長し続けるけいゆう病院でありたいと思っております。

【ゆび募金について】

ゆび募金自販機は取引先企業からのご提案を受け、財団法人である当院ができる社会貢献活動として、平成24年2月に設置しました。

当院では、1日約1,300人の外来患者が来院しており、職員だけでなくできるだけ多くの方が飲料購入を通じ寄付参加できるよう、設置場所は1階西玄関の自販機コーナーとしました。

【寄付先について】

寄付先には、東日本大震災により被災された方々の復興支援に少しでも役立てればと「東日本大震災復興支援」を選択しました。



財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院

会長：黒岩 祐治（神奈川県知事）

病院長：永田 博司

所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-3

病床数：410床

寄付先団体の活動を知ろう！

新しく寄付先に登録された団体のご紹介です！

社団法人 家庭養護促進協会 神戸事務所

半世紀を歩んだ愛の手運動

家庭養護促進協会は昭和37年より神戸新聞（月曜朝刊）とラジオ関西（日曜「里親さがしの時間」）の紙面や番組で、毎週1回里親の必要な子どもを紹介し、兵庫県下からその子どもの里親を求める「愛の手運動」を始め、2年後の昭和39年より毎日新聞（日曜朝刊）の協力で大阪府下を対象に同じ運動がスタートしました。



神戸新聞「あなたの愛の手を」記事

この50年間に愛の手運動を通して里親に迎えられた子どもは、2285人（平成24年3月末）にのぼります。マスメディアとタイアップした里親さがしの愛の手運動は、日本では極めてユニークで先駆的な民間活動として注目されてきました。

地域の人に支えられて

協会の主な活動は、紙面や番組を通しての里親のリクルートを初め、里親への支援、啓発図書の実出版などの広報活動、里親制度に関する調査研究、地域の子育て支援活動などです。

民間の活動のため自治体からの委託金などは3割で、活動資金はその7割を寄付、会員の会費、バザーやチャリティ映画会などの収益事業によって支えられています。



里親家庭の交流会「新春初笑い大会」

なかでも寄付金が予算の4割を占めていますが、これはこの活動がいかにも多くの人たちによって支えられているかを示しています。



里親家庭の研修会

ゆび募金の会員の皆様によるご協力は、広報としても募金の形としてもユニークで、ご参加下さる会員がどんどん増えていくことを願っています。

東日本大震災復興支援

NPO法人パブリックリソースセンターを通じて被災3県の各団体に寄付金をお送りしています。

岩手県 ◆NPO法人遠野まごころネット◆

「まごころサンタ基金」

遠野まごころネットは、岩手県沿岸部の被災者の方々を支援するべく、遠野市民を中心に結成されたボランティア集団です。ご寄付は、岩手県全土の学生を対象に、学業の継続を支援する奨学金制度「まごころサンタ基金」に使われています。震災遺児だけでなく、保護者の失職や収入減のため進学に困難を抱えている子ども達の進学を支援するために、奨学金の支給を行っています。

宮城県 ◆財団法人たんぼぼの家◆

「笑ってプロジェクト」

たんぼぼの家は、「アート」と「ケア」の視点から多彩なアートプロジェクトを実施している市民団体です。ご寄付は、被災地の障害のある人の「しごと」の復興を支援しています。宮城県南三陸町「のぞみ福祉作業所」は水産加工の下請けをしていましたが、津波により施設が全壊し、通所者の仕事がなくなりました。笑ってプロジェクトでは、新製品の開発、パッケージなどのデザイン改良、アトリエ活動の支援、専門家の派遣を行い、障害のある人が精神的にも経済的にも自立していくための支援活動を行っています。

福島県 ◆NPO法人ビーンズふくしま◆

「うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト」

ビーンズふくしまは、不登校の子どもやひきこもりの青年たちと、その家族を支援してきました。現在は、震災及び福島第一原発事故により避難生活を強いられ、福島県中通り地区で仮設住宅や借り上げ住宅で生活している子どもたちを対象に、支援活動を展開しています。ご寄付は、仮設住宅でのこども地域生活支援コーディネーターの配置や、イベントの実施などに活用されています。



ビーンズふくしま 仮設住宅でのお餅つき



たんぼぼの家 通所者とのワークショップ



サンタ基金の元になったイベント「サンタが100人やってきた！」



ジャパン・カインドネス協会 毎年恒例のクリスマスプレゼント

JK協会は、毎年クリスマスの時期に、福祉施設や養護施設などにささやかなプレゼントをお届けしています。

2012年のクリスマスにも、協会スタッフが1枚1枚心をこめて手作りしたクリスマスカードを添えて、チョコレートを贈りました。

社会福祉法人 日野青い鳥福祉会



本会の小川友一理事が利用者の皆さんにチョコレートをお届けしました。



社会福祉法人 至誠学舎立川



左：至誠学舎立川の高橋利一理事長
右：本会の小川友一理事



平成23年度（平成23年9月～平成24年8月）寄付実績

期 間	寄付金額 ※（ ）内は復興支援への寄付金額	寄付月
第1回（H23.9月～12月）	3,160,003円 （1,548,859円）	平成24年2月
第2回（H24.1月～4月）	3,060,292円 （1,473,290円）	平成24年6月
第3回（H24.5月～8月）	3,690,041円 （1,740,289円）	平成24年10月
年計	9,910,336円 （4,762,438円）	

累計 91,639,973円（平成24年8月末現在）

寄付に関する詳細はホームページをご参照ください。 <http://jkkyoukai.com/>

編集後記

JK協会恒例のクリスマスプレゼントは、毎年10月ごろから準備を始めます。事務局長から「今年は〇百枚、よろしく頼むよ！」と号令がかかり、他の仕事の合間を縫ってのカード作り。枚数が多いので、毎日数枚ずつコツコツと…。でも、シールを貼ったりメッセージを書いたり、実はとても楽しい作業です。男性スタッフの作ったカードに女性陣から「かわいい」「それマネしよう」などと声がかかることもあります。ささやかな贈り物ではありますが、喜んでいただけると私たちも温かい気持ちになります。これからも続けていきたいと思えます。

最後に、今回の会報作成にあたり、ご多忙の中ご協力を賜りましたロケオーナー様、寄付先団体様に心より御礼申し上げます。

（青木）

ゆび募金だより 会報第5号

発行日：2013年 2月 1日

発行：JK 特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会

〒186-0004

東京都国立市中1-18-41 栄ビル301

TEL：042-571-2233

FAX：042-571-2263

Eメール：info@jkkyoukai.com

URL：http://jkkyoukai.com/